

2022 年 8 月 8 日



「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約締結について ～お客さまのサステナブル経営をサポート～

名古屋銀行（頭取 藤原 一郎）は、有限会社佐藤木型製作所（代表取締役 佐藤 裕仁）と「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

当行は、今後もグループ一体となり、銀行の既存のビジネスモデルに捉われない持続可能な収益機会の創出及び付加価値の高いサービスを提供し、さまざまなお客さまの経営課題解決を通じて地域社会とともに未来を創造してまいります。

記

1. 契約締結日 2022 年 8 月 8 日（月）
2. 融 資 金 額 50 百万円
3. 融 資 期 間 5 年
4. 資 金 使 途 事業資金
5. PIF 評価書 添付資料をご参照ください

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記 URL をご参照ください。
https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2022/08/news_release_suf_20220808_jpn_01.pdf

6. 有限会社佐藤木型製作所の概要

代 表 者	佐藤 裕仁
本社所在地	愛知県小牧市大字横内立野 680-1
業 種	木型製造・設計
創業年月日	1970 年 5 月

< 記念盾贈呈式の様子 >



有限会社佐藤木型製作所 株式会社名古屋銀行
代表取締役 佐藤 裕仁 氏 小牧支店長 廻間 大樹

※写真撮影時のみマスクを外しております。

参考：「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の取り扱い開始について

https://www.meigin.com/release/files/20220111meigin_PIF.pdf

以 上

ポジティブインパクトファイナンス評価書

～有限会社佐藤木型製作所～



2022年8月8日
株式会社名古屋銀行
法人営業部 法人コンサルティンググループ

はじめに

株式会社名古屋銀行は、有限会社佐藤木型製作所に対し、めいぎんポジティブインパクトファイナンス（以下、めいぎん PIF）を実行した。

本件取組にあたって、株式会社名古屋銀行は国連環境計画金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という。）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り、有限会社佐藤木型製作所の企業活動における包括的なインパクトを分析し、充実したサステナビリティ経営に向けた KPI を設定した。

借入人概要

借入企業	有限会社 佐藤木型製作所
所在地	愛知県小牧市横内立野 680-1
従業員	38 名
売上高	571 百万円
事業内容	鑄造用木型製作、三次元 CAD/CAM データ、NC データ作成

融資条件概要

融資形態	証書貸付
融資金額	50,000,000 円
資金使途	運転資金
融資・モニタリング期間	5 年

目次

1. 企業情報	3
①会社概要	
②沿革	
③事業系統図	
④事業概要	
⑤企業理念・行動指針	
2. 事業内容	8
①鑄造用木型事業部	
②モデル事業部	
③デジタル造形事業部	
3. その他の活動	12
①若手人材への投資	
②働き方改革への取組	
③SDGs宣言	
4. インパクトの特定	15
①インパクトマッピングによるインパクト分布	
②インパクト分布図	
③国内のインパクトニーズ	
5. 測定する KPI	20
・ポジティブインパクトの拡大	
・ネガティブインパクトの縮小	
6. インパクト管理体制	22
7. モニタリング方法	22
8. 総括	22

1. 企業情報



①会社概要

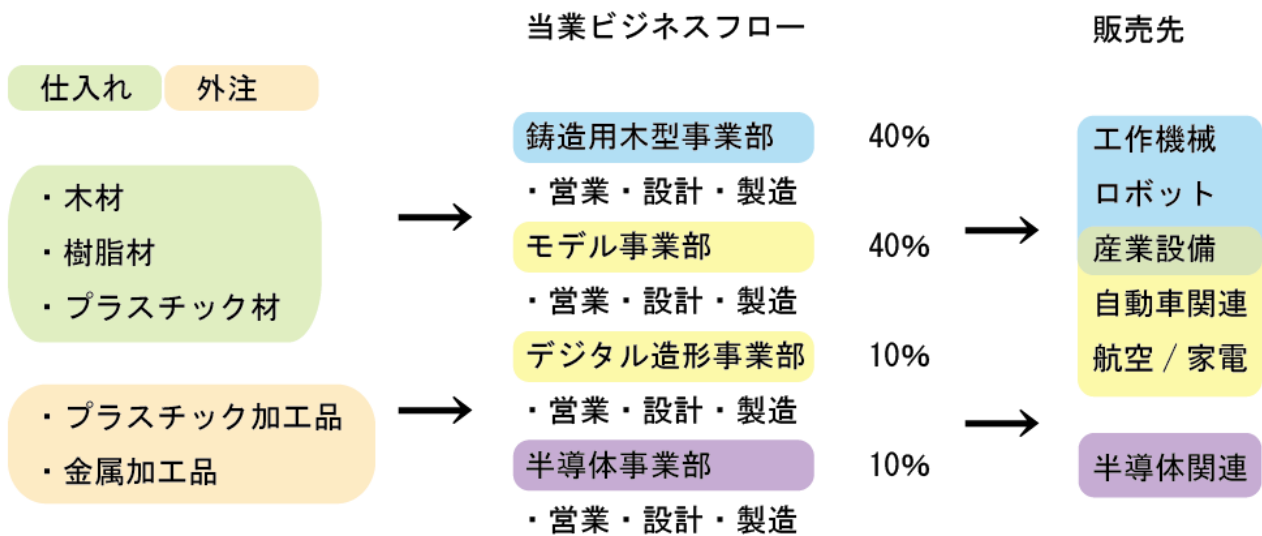
会社名	有限会社佐藤木型製作所
創立年月日	1970 年 5 月
資本金	5,000,000 円
代表取締役	佐藤 裕仁
本店所在地	愛知県小牧市横内立野 680-1
従業員数	38 名 (2022 年 6 月現在)
決算日	4 月 30 日



②沿革

- 1970 年（昭和 45 年） 創業者が個人経営により
「佐藤木型製作所」を興し、鑄造用木型の製造を開始。
- 1975 年（昭和 50 年） 自動車内外装モデル製作開始
- 1982 年（昭和 57 年） 有限会社に組織変更し有限会社佐藤木型製作所となる。
江南市般若町に工場新築移転
- 1986 年（昭和 61 年） 江南市力長町に工場新築移転
- 1990 年（昭和 64 年） NC フライス導入
- 1992 年（平成 4 年） CAD/CAM 導入。（NC 加工本格化）
- 2000 年（平成 12 年） 大口工場 新設移転
- 2012 年（平成 24 年） 小牧工場移転（現第 2 工場）
門型 5 軸加工機導入
- 2013 年（平成 25 年） ATOS Compact Scan 導入
- 2015 年（平成 27 年） 小牧本社工場新設
佐藤 裕仁 代表取締役就任
第 1 回無担保社債発行
- 2017 年（平成 29 年） 第 2 回無担保社債発行
- 2019 年（平成 31 年） 健康経営優良法人 2019 認定
「平成 30 年度健康宣言優良事業所」 銀賞受賞
第 3 回無担保社債発行
第 4 回無担保社債発行
- 2020 年（令和 2 年） 健康経営優良法人 2020 認定
- 2021 年（令和 3 年） 健康経営優良法人 2021 認定
- 2022 年（令和 4 年） 健康経営優良法人 2022 認定
YouTube チャンネル「エンチャント工房」開設

③事業系統図



④事業概要

- ・ 鋳造用木型（諸機械など鋳造用木型）
- ・ 三次元 CAD/CAM データ、NC データ作成、3D モデリング
- ・ 自動車部品検査治具（検査ゲージ）、各種治具設計製作
- ・ デザインモデル、マスターモデル、樹脂加工モデル製作
- ・ モックアップモデル、ワーキングモデル、試作モデル製作
- ・ 試作金型、小量産金型（ZAS 金型、アルミ金型）設計製作
- ・ プラスチック試作品・試作品、試作部品
- ・ FRP 成形型 CFRP 成形型（パールボード）設計製作
- ・ リバーエンジニアリング、3D デジタル造形

（株）佐藤木型製作所は鋳造用木型事業部、モデル事業部、デジタル造形事業部を主な軸として、図面作成、設計、加工、組付けまでを自社内だけで一貫して行うことができる。

また、特長の一つとして、機械加工のみならず手加工を主とする個別生産にも対応可能な点が挙げられる。業界として機械化が進み手加工を行える技術者が減少していく中で、5 軸加工機を始めとした先端技術を取り入れながらも、従来の工法を継承していくために日々従業員の育成に注力している。



⑤企業理念・行動指針

企業理念 corporate vision

感謝につながる新しい価値を築く

行動指針 Code of Conduct

- ・自分は生かされていることを知りすべてに感謝する。
- ・流れに逆らわず、素直でありのままの自分の素晴らしさに自信をもつ。
- ・誠実、謙虚である。
- ・自分の魅力を伝え、表現する。
- ・仲間を理解し、喜びを共有する。
- ・仲間に優しく、思いやりのある配慮をする。
- ・向上心を持ち、技術力を高め伝承する。
- ・情熱とワクワク感をもって挑戦し成長しよう！
- ・やればできる！有言実行！



2. 事業内容

① 鋳造用木型事業部

工作機械、産業設備、ロボット向けの砂型鋳造用木型を設計製作する。特に大型の製品を得意とし、試作から量産まで対応。熟練の職人から若手職人まで、多数の技術者が在籍しており、多種多様な受注に対して日々アイデアを出し合っている。

実績として多い製品としては、工作機械のベットやコラム、火力・風力発電の鋳物部品、大型施設の大型冷凍機器、ロボットアーム各部品等。

【主な生産フロー】



・産業設備関係



・大型冷凍機器



・工作機械



・ロボットアーム

② モデル事業部

自動車、航空、住設備業界など幅広い分野の様々なニーズに対応。試作から量産段階に至るまでのサポートを得意としている。金属からプラスチック材など材質を問わず対応可能。

設計から加工データを作成し、木型で培った技術と経験を活かし、幅広い業種に対応できるよう体制を整えている。また、要望に応じて製品開発の支援も行っており、加工・塗装・組立についても対応可能である。

【対応フロー例】

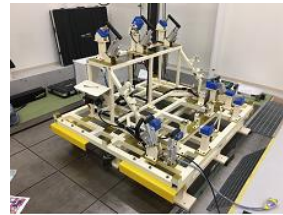


他にもアルミ製品製作・鋳造品製作・量産品等、柔軟に対応が可能





大型のマシニング設備



各種治具設計



開発支援(トレーラーハウス製作)



FRP製エアロ製作



展示会モデル

③ デジタル造形事業部

当社ではユーザー様のご要望（コンセプト）をスピーディに可視化（ビジュアル化）し、3Dイメージやモデルにしてご提案する「コンセプトビジュアライゼーション」という概念を重要なテーマとして位置づけている。

リバースエンジニアリング、3D造形といったデジタル造形技術を用いて、工業系のCADでは表現できない有機的な形状を可視化したりモデル化することで、自動車業界、アミューズメント、医療、重要文化財の修復など今までには対応できなかった分野への進出が可能となった。

実績紹介

スポーツ関係	人体スキャン → 3D デジタル造形 → サッカー用レガース制作
医療関係	人体スキャン → 3D デジタル造形 → 手術用の製品製作
遊戯機器関係	デザイン案 → 3Dデジタル造形 → ソリッドデータ作成 → 金型用製品データ製作
建築関係（重要文化財等修復）	内装スキャン → 3Dデジタル造形 → 左官用型製作

・リバースエンジニアリング



・3Dリアルモデリング

FREEFOAMからCATIA
(CGデータ) から(サーフェース・ソリッドデータ)



・アパレル、遊戯機器、アミューズメント、医療関係

3. その他活動

① 若手人材への投資

企業理念でもある「新しい価値を築く」ものづくりの新しい価値を見出す為に、本業とは違った角度から、ものづくりの製作工程の様子をSNSを通じて発信し、新たなビジネスモデル開発を行っている。



ECS
エンチャント工房
モノづくりの楽しさを世界に

ミニチュア作品の製作工程を配信!

YouTube チャンネル 開設しました チャンネル登録お願いします(^^)♪

② 働き方改革への取組

- ・健康経営優良法人の認定



経済産業省の健康経営優良法人認定制度にて「健康経営優良法人2022（中小規模法人部門）」の認定を受けている。

地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度（経済産業省HPより抜粋）であり、定期健診受診率100%、手作り副菜の提供、熱中症や感染症対策、毎年行う全社員参加のイベントなどの取組みが評価され認定に至った。

・愛知県ファミリーフレンドリー企業認定



仕事と育児・介護・地域活動など仕事以外の活動を両立できるよう積極的に取り組む企業について、愛知県ではワーク・ライフ・バランスの実現に取り組む企業として認定を行っている。

従業員がより良い働き方ができるような日々の取組みが認められ、その『愛知県ファミリーフレンドリー企業』として認定を受けた。

・AICHI WISH 企業認定



厚生労働省愛知労働局より「働き方改革」に積極的に取り組んでいる企業として、2020年2月「AICHI WISH 企業」の認定を取得した。

今後も働きやすい職場環境の整備に努め、ワーク・ライフ・バランスを推進する取組みを進めていく方針である。

・あいち女性輝きカンパニー



女性の活躍促進に向け、トップの意識表明や採用拡大、職域拡大、育成、管理職登用のほか、ワーク・ライフ・バランスの推進や働きながら育児・介護ができる環境づくりなどの取組を行っている企業等を愛知県では「あいち女性輝きカンパニー」として認証しており、当社は認証を受けている。

上記に伴い、当社は女性活躍に向けた取組として、下記事項を宣言している。

- ・女性の活躍に向けた方針を表明・周知します
- ・女性の活躍に向けて、社内の意識改革に努めます
- ・女性の活躍推進委員会の設置など、社内の体制を整備します

③ SDG s 宣言



有限会社 佐藤木型製作所 SDG s 宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDG s）」に賛同し、
SDG s の達成に向けた取組みを行っていく事を宣言します。

2020年11月13日
有限会社 佐藤木型製作所 代表取締役 佐藤 裕仁

✿ — SDGs の達成に向けた取組み — ✿

職場環境

多様な人材が活躍できる社内制度の構築により、働きやすい職場環境を整えてまいります。

〈具体的な取組み：65歳以上の勤務を希望する社員に継続勤務可能な職場の提供、健康経営優良法人認定の取得〉

人材育成

社員一人ひとりの資格取得推進、若い職人の育成を重視し、職務に応じた研修体系の整備を実施してまいります。

〈具体的な取組み：資格受験諸費用を会社が全額負担する「資格取得支援制度」、階層別研修制度の確立、若手社員の木型製作コンテストの実施〉

品質技術

製品作りの原点である「モノづくり」を未来に残し、お客様に最も適した高品質な製品を提供することにより、持続可能な社会を実現するイノベーションを推進してまいります。

〈具体的な取組み：最新鋭の設備の継続導入、手作業と機械作業の一体化によりあらゆるニーズに対応〉

社会貢献

地域貢献活動への積極的な参加。地元高校からの採用を通じて、当社に関わる全ての人との共存、共栄を図り、地域社会の発展に寄与してまいります。

〈具体的な取組み：工場周辺の清掃活動、地元人材の積極的な採用〉







×


製品・サービスの品質・技術の向上による「モノづくり」分野への貢献と、それを維持していくために従業員の育成と職場環境の整備を柱として、具体的な指針を公表している。今般のめいぎんポジティブインパクトファイナンスについても、インパクト分析を踏まえ、SDG s 宣言と共通した分野でのKPIを設定する。

4. インパクトの特定

①インパクトマッピングによるインパクト分布

名古屋銀行は事業性評価におけるビジネスモデル（非開示）により有限会社佐藤木型製作所の主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。有限会社佐藤木型製作所の業種カテゴリは多岐に渡る為、分布図は主要業種の掲載に限定する。

分布図中の「★★」は重要な影響があるカテゴリ、「★」は影響があるカテゴリを示す。有限会社佐藤木型製作所の事業活動については「★★」「★」の影響をすべて検討する。川上・川下の事業活動については有限会社佐藤木型製作所が直接関与できないため次の事項を検討する。ポジティブ面では川上・川下の事業でポジティブな影響の促進やネガティブな影響の緩和に有限会社佐藤木型製作所の事業が貢献できることがないか検討する。ネガティブ面では川上・川下の事業において重要な影響があるか影響が及ぶ地域での対応のニーズが強いカテゴリについて、取引関係の管理などを通じて緩和に貢献できるか検討する。

分析の対象となる事業活動がインパクトマッピングの業種分類に含まれる特定の事業の場合、当該事業とは無関係なインパクトカテゴリについては検討しない。

②インパクト分布図

受注内容が多岐にわたるため、売上高の大きい（インパクトの大きい）主要業種に絞って分析を行う。

・サプライヤーの事業（川上の事業）

インパクトカテゴリ	川上の事業					
	【 4669 】		【 2930 】		【 2829 】	
	廃棄物・スクラップ及び他に分類されないその他の製品の卸売業		自動車部品及び付属品製造業		その他の特殊産業用機械製造業	
	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ
水（入手）						
食料						
住居						
健康・衛生	★			★★		
教育						
雇用	★	★	★	★	★	★
エネルギー						
移動手段			★	★		
情報						
文化・伝統						
人格と人の安全保障				★		
正義						
強固な制度・平和・安定						
水（質）		★		★		★
大気		★		★		★
土壌				★		★
生物多様性と生態系サービス		★				
資源効率・安全性	★			★★		★
気候	★	★		★★		★
廃棄物	★	★		★		★
包括的で健全な経済			★		★	
経済収束	★		★			

川上の事業におけるインパクトは上記の通りであり、『雇用』『包括的で健全な経済』『経済収束』におけるポジティブが確認された。ネガティブとしては環境におけるものが多く散見されている。製造過程で排出される汚染物質、廃棄物が大きな要因であるが、当社努力により直接の緩和は難しい領域である。

・ 同社の事業

インパクトカテゴリ	同社事業									
	【 1629 】		【 2220 】		【 2819 】		【 2829 】		【 7410 】	
	その他の木製品、コルク、わら及び編み物素材製品製造業		プラスチック製品製造業		その他の一般機械製造業		その他の特殊産業用機械製造業		専門デザイン業	
	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ
水（入手）										
食料										
住居	★									
健康・衛生				★						
教育										
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★	★★	★
エネルギー										
移動手段										
情報										
文化・伝統										
人格と人の安全保障										
正義										
強固な制度・平和・安定										
水（質）		★		★★		★		★		
大気		★		★		★		★		
土壌				★★		★		★		
生物多様性と生態系サービス										
資源効率・安全性		★		★		★		★		
気候		★		★		★		★		
廃棄物		★		★★		★		★		★
包括的で健全な経済	★		★		★		★		★	
経済収束										

当社の事業におけるインパクトについては上記の通りであり、『雇用』『包括的で健全な経済』についてポジティブインパクトが確認された。

手加工の技術は日本のものづくりにおいて不可欠であり、高い技術力を持つ職人の育成は雇用面でポジティブインパクトが大きい。その中でも当社は、特に若年層や女性を対象として積極的な育成・技術伝承に取り組んでおり、職場環境の整備や資格取得支援にも注力している。

一方で、工作機械や産業ロボット向けの木型製作をはじめ、製造業のサプライチェーンを支えることで「包括的で健全な経済」にも寄与している。最新設備を活用した機械加工に加え、職人の技術力を生かした高精度な手加工を強みとし、量産品から試作品に至るまで多様な業界のニーズに対応できる体制を構築し、さらには一部の領域のみならず、ベンチャー企業への試作品提供にも取り組む等、新規ビジネス育成にも貢献し、幅広い分野へポジティブインパクトを拡大している。

今後とも、主に量産品に対応する機械加工においては適宜自動化を進め、職人による手加工とのメリハリをつけることで生産性向上に努めていく方針である。

以上のポジティブインパクト拡大のために、技術力の維持・向上および健全な雇用・教育の面でK P I

を設定する。尚、標準産業分類【1629】が木型家庭用品及び台所用品を含んでいるため『住居』に対するポジティブインパクトも確認されたが、当社においては左記製品を製造していないため分析対象からは除外した。

対してネガティブインパクトについては、川上事業と同様、環境関連のインパクトが散見された。木材、金属、プラスチックの加工に伴う汚染物質の排出、環境破壊が主な理由であるが、これに対し、廃棄物処理の際にダイオキシン発生抑制機能を有する小型焼却炉の導入をKPIとして設定し、ネガティブインパクト縮小を図る。

・ユーザーの事業（川下の事業）

インパクトカテゴリ	川下の事業							
	【 2431 】		【 2930 】		【 2220 】		【 2592 】	
	鉄鋼鑄造業		自動車部品及び付属品製造業		プラスチック製品製造業		金属の処理・塗装・機械加工業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水（入手）								
食料								
住居	★							
健康・衛生		★		★★		★		
教育								
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー								
移動手段			★	★				
情報								
文化・伝統								
人格と人の安全保障				★				
正義								
強固な制度・平和・安定								
水（質）		★		★		★★		★
大気		★		★		★		★
土壌		★★		★		★★		
生物多様性と生態系サービス								
資源効率・安全性		★★		★★		★		★
気候		★		★★		★		★
廃棄物		★		★		★★		★
包括的で健全な経済	★		★		★		★	
経済収束			★					

川下の事業におけるインパクトは上記の通りであり、『住居』『移動手段』『雇用』『包括的で健全な経済』『経済収束』におけるポジティブが確認された。川上企業、同社事業と同様に、川下企業においてもネガティブインパクトとしては環境におけるものが多く散見されている。要因は製造過程で排出される汚染物質、廃棄物であるが、これも当社努力により直接の緩和が難しい領域である。

尚、特に重要なインパクトカテゴリと対応するSDGsのゴールは、下記の通りである。

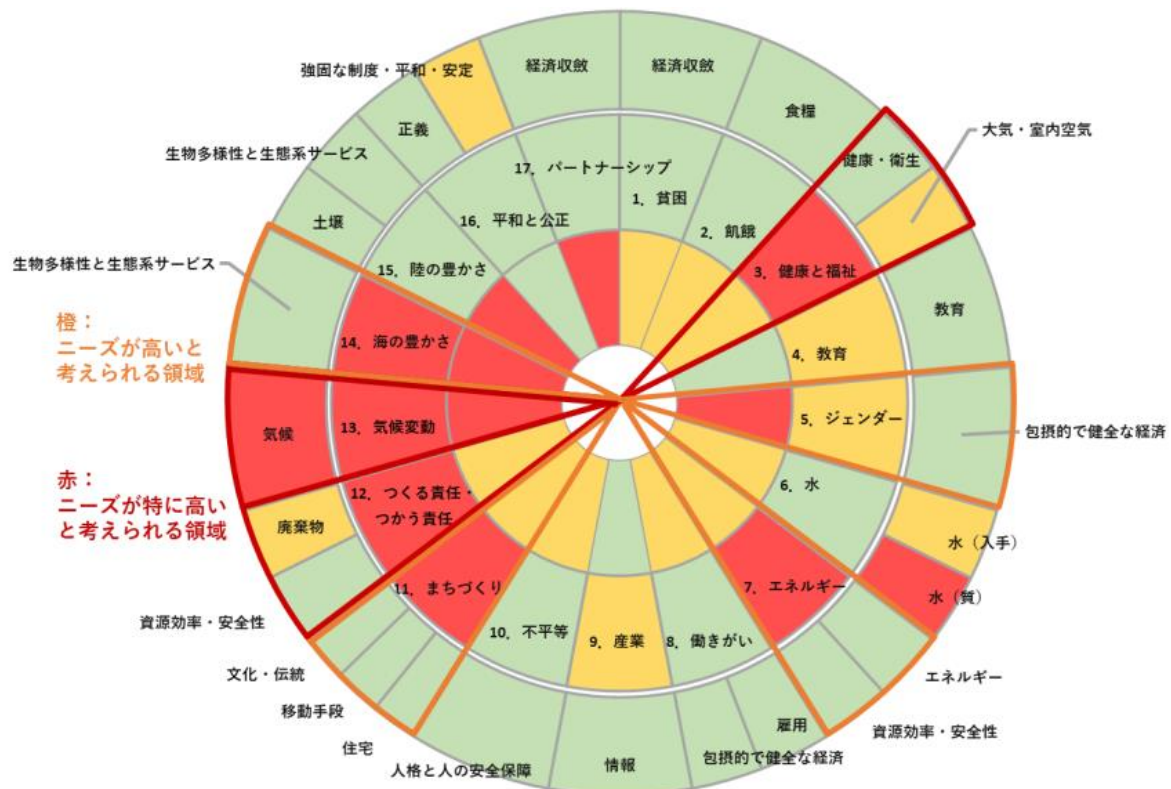
※対応するSDGsのゴール



③国内のインパクトニーズ

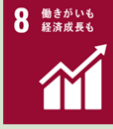
環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」における国内のインパクトニーズは下記の図によって表される。特に取り組むべき SDGs を赤色、取り組むべきであるが不十分な SDGs を黄色、その他を緑色としているものである。

名古屋銀行が特定した有限会社佐藤木型製作所のインパクトと対応する SDGs のゴール「3、4、8、9、12、13、14、15」に対して、赤色もしくは黄色のゴールに概ね該当するものとなっており、国内のインパクトニーズと整合的である。



5. 測定するKPI

①持続的な経済成長（ポジティブ拡大）

項目	内容
インパクトの種類	経済面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「包括的で健全な経済」
関連するSDGs	 
対応方針	BCP対策、サプライチェーンの維持、生産性の向上
KPI	・BCP対策の強化のため事業継続力強化計画の作成する（内容報告） ・工場レイアウトの見直しや機械化を進め、従業員1人当たりの売上高を向上させる（実績開示）

②技術力の向上（ポジティブ拡大）

項目	内容
インパクトの種類	経済面でポジティブインパクトを拡大、社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「雇用」「包括的で健全な経済」
関連するSDGs	  
対応方針	多種多様な受注に対応できるよう技術者（手作業のできる職人）を育成し、産業構造を支える
KPI	・多能工化を進め、当社の認定技能を3項目以上取得した技術者を現状8名から12名にまで増員させる（実績開示） ・不良率を0.01%以下まで削減する（実績開示） ・社内教育ロードマップを策定する（内容報告）

③健全な雇用と教育（ポジティブ拡大）

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連するSDGs	 
対応方針	平等で生き生きとした働きやすい労働環境
KPI	・現状2割の女性従業員の割合を増加する（実績開示） ・新卒者3名の継続的な採用維持する（実績開示）

④労働環境の整備（ネガティブ縮小）

項目	内容
インパクトの種類	社会面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「雇用」「健康・衛生」
関連するSDGs	 
対応方針	安心安全な職場環境
KPI	・従業員の健康診断における再受診率を現状26%から100%まで向上させる（実績開示） ・年間休日115日以上設定し、7日以上の有給休暇取得を促す（実績開示） ・年間労働災害件数ゼロとする（実績開示）

⑤環境への影響の配慮（ネガティブ縮小）

項目	内容
インパクトの種類	環境面でのネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「大気」「土壌」
関連するSDGs	 
対応方針	有害物質排出量の削減
KPI	・ダイオキシン排出抑制機能を有する廃棄物処理設備を導入する（内容報告）

6. インパクトの管理体制

有限会社佐藤木型製作所は佐藤社長を中心としてサステナビリティ経営充実の為の施策を各事業部が連携してSDGsの施策を検討・実施・検証する体制が整っている。

めいぎん PIF におけるインパクトについては、佐藤社長が中心となり、管理・達成へ向けた施策を実施する。

インパクト管理者

最高責任者	代表取締役社長 佐藤 裕仁
-------	---------------

7. モニタリング方法

有限会社佐藤木型製作所に対するめいぎん PIF のモニタリングは、インパクト管理者と名古屋銀行の担当者（法人営業部サステナビリティ推進担当及び営業店担当者）により年 1 回以上の協議を通して実施する。年 1 回以上の協議は、下記のプロセスで行われる。

項目	内容
1. 内容報告・実績開示	設定した KPI の達成度を確認する。
2. 検証・精査	達成度について開示された情報を名古屋銀行が確認する。
3. 修正の検討	達成度・進捗度を検証し KPI の修正を検討する。
4. 追加の検討	形骸化を防ぐ為、KPI の追加や削除を検討する。

名古屋銀行は上記のプロセスにおいて、自行のサポート及びアドバイスを実施する。また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センターに対し、包括的な年次レビューを受ける。

8. 総括

有限会社佐藤木型製作所の事業内容及びインパクト調査の結果、手がける事業それぞれにポジティブ及びネガティブな影響を確認した。有限会社佐藤木型製作所が KPI 達成を目指すことで社内、地域社会への大きな貢献が想定され、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」、ESG及びSDGsの観点からも十分な適合性を確認した。